

2023年度【フラット35】利用者調査結果

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区後楽1-4-10、理事長：毛利 信二）が実施した2023年度【フラット35】利用者調査の結果をお知らせします。

調査結果の詳細は、機構ホームページをご覧ください。

https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_flat35.html

調査の概要

本調査は、【フラット35】（買取型及び保証型）の利用者データを集計し、【フラット35】の利用状況を取りまとめたものです。本調査は2004年度から継続して実施しています。（今回の調査対象）

2023年度（2023年4月～2024年3月）の買取承認案件及び付保承認案件（借換え案件を除く32,382件）

調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

○ 中古住宅の利用割合が増加 <p. 3>

【フラット35】の利用状況を融資区分別（建て方別）に見ると、中古住宅（中古戸建・中古マンション）の利用割合は前年度から3.3ポイント増加して27.4%となった。

・中古住宅の利用割合：27.4%（前年度比+3.3ポイント）
（内訳）

・中古戸建の利用割合：15.3%（前年度比+2.5ポイント）
・中古マンションの利用割合：12.1%（前年度比+0.8ポイント）

○ 世帯年収は増加 <p. 8>

【フラット35】利用者の平均世帯年収（注）は、2021年度以降増加傾向にあり、2023年度は661万円（前年度+27万円）となった。

（注） 本人及び収入合算者の合計

○ 中古住宅の築後年数は増加 <p. 15、p. 16>

中古住宅（中古戸建・中古マンション）の平均築後年数は増加傾向が続いている。

・中古戸建：23.0年（前年度比+2.1年）
・中古マンション：28.7年（前年度比+1.7年）

本リリースに関するお問い合わせ先

住宅金融支援機構 経営企画部広報グループ 西村/熊谷/中田/甲斐/長谷川 TEL：03-5800-8019

住宅金融支援機構ホームページ <https://www.jhf.go.jp/>